

国立研究開発法人国立がん研究センター

人材交流

- ・ 国立がん研究センター(NCC)からPMDAへの派遣者は計16名、PMDAからNCCへの派遣者は計6名である。
- ・ PMDAへの派遣者は帰任後に、臨床研究支援部門を中心に配属され、全員が医薬品・医療機器等の開発支援に貢献している。

人材育成

- ・ PMDA職員を対象として、NCCでの治験審査委員会等の見学研修が実施された。
- ・ アジアがん臨床試験ネットワーク構築事業(ATLAS)国際シンポジウムをNCCと共催し、PMDA役職員が講演を行った。

共同事業

- 「安全対策業務に従事する職員の人材育成に関する覚書」及び「信頼性調査に係る業務に従事する職員の人材育成に関する覚書」に基づき、薬剤部における長期研修及び治験管理部門におけるGCP長期研修を開始した。
- 希少がんの臨床開発の環境整備等に関する連携・協力の一環として、NCCが実施する研究事業である「MASTER KEY Project」に関するNCC-PMDA連絡会を設置し、情報共有や意見交換を行った。
- PMDAアジアトレーニングセンターのセミナーにおいて、NCC職員が講演を行った。

令和4年度末現在